



錫山小・中学校
令和5.12.5 発行

〒891-0144
鹿児島市下福元町9856
TEL 263-2001
FAX 263-2002
http://keinet.com/suzuyac/index.htm

人と人との心をつなぐ言葉を大事に！
学校長 伊東 智志

ある学校の研究公開に出かけたときのことです。研修会の休憩時にトイレに行くとき、個室のドアに一枚の張り紙がしてありました。そこには、「使えません」と書かれていました。こうした場合、多く見かける表現は「使用禁止」という言葉です。「使用禁止」という言葉は、今では、多くは見かけなくなりましたが、「使えません」という表現を目にして、「おやっ」と思ったのでした。

言葉というものは不思議なもので、伝えたい内容以外にそれを遣った人の心まで微妙に伝わってくる気がします。「使用禁止」と書けば「使うな」ということが、単純明快に伝わりますが、絶対に守れよという気持ちも一緒に伝わってきそうです。ところが、「使えません」について考えてみると、「この便器は故障しているのです。申し訳ありませんが、使えないのですよ。」と言っているように思えます。また、「だから、あなたはどうかしらいいいかお分かりますね。」と問いかけているような気さえします。「使用禁止」の表現と比べてみると、相手に一呼吸おいて考えてもらおうとする『間』というものを与えているのです。相手の立場を考えの中に入れて、自

分の思いを伝えようとする心構えが、こうした言い方になって表れているのだと思います。

「寒いね」と話しかければ 「寒いね」と答える人のいる あたたかさ

これは、女流歌人である俵万智さんの歌です。「寒いね」と言うと「寒いね」と相づちを打ってくれる人が傍らにいます。それだけで、心の中が温かく満たされてくるという意味を表した歌です。言葉を発する人がいて、それを受け止める人がいる。それで言葉というものは初めて成立するのです。そして、そのやりとりが人と人との心を和ませてくれているのだと思います。このように、毎日繰り返し遣っている言葉は、人と人との関係をつくる大切な働きをしています。

本校では、十二月四日から十二月十日を人権週間とし、人権教室をはじめとする様々な取組を行います。その中で「おはよう」「さよなら」「また明日」といったような、人と人との心をつなぐ架け橋となるようなあいさつの言葉をはじめ、日常生活の会話で遣う言葉の大事さについて考えてほしいと思います。私自身、大事に遣っていきいたものだ、今さらのように思う今日この頃です。



それぞれの成長を感じる 学習発表会

十一日に学習発表会をしました。たくさん地域・保護者の方々が見守る中、これまで学習してきた成果を発表できました。



絵本作家・宮下すずか先生との出会い

十四日に、令和五年度の椋鳩十児童文学賞受賞者交流事業が本校で実施されました。「ひらがなだいぼうけん」で有名な宮下すずか先生にお話と読みかきをしていただきました。へのへのもへじを描きながら、みんなでことば遊びも楽しみました。作家さんとの出会いと感動は今後の財産になることでしょう。



伝統を引き継ぐ 錫山相撲大会

三日に校区で錫山相撲大会が実施されました。三六六回を数える伝統ある相撲大会ですが、四年ぶりの実施のため、多くの方が初めて観覧・参加しました。相撲大会に参加したり、迫力ある相撲を応援したりして皆さんと祭りを楽しみました。連綿と続く地域と学校のつながりを感じた一日でした。



持久走大会 応援の駐車場について

十二月七日の持久走大会に向けて、児童生徒はそれぞれ目標を立てて練習に励んでいます。駐車場は、よかDとゴミステーション横の空き地になります。ご厚意でお借りしています。応援は交通・走行の妨げにならないようお願いいたします。



赤い羽根募金 ありがとうございます

十八日にイオン、二十二日に校内で、赤い羽根共同募金活動を行いました。このご時世に、当たり前のように人のため、社会のためにがんばることができる子どもたちを誇らしく思います。



十二月の主な行事

- 七日(木)持久走大会十四時五分から 学級PTA(小、中一・二)
- 八日(金)専門高校フェスタ(中)
- 九日(土)土曜授業、持久走予備
- 十二日(火)人権教室(小)、ALT 持久走予備
- 十三日(水)移動図書
- 十五日(金)総合見学学習(小)
- 二十日(水)ALT
- 二十一日(木)市スクールカウンセラー
- 二十二日(金)終業式、大掃除
- 二十四日(日)ミニ門松づくり

